

特別活動（生徒会活動） あいさつ運動

開成町立文命中学校

単元（題材）目標

- 福祉学習についての学びをいかし、お互いを尊重できる思いやりの心を育てる。
- 人間一人ひとりが、かけがえのない存在であることを理解し、学級の活動や生徒会活動にいかす。

(1) 実施時期 1月下旬～2月

(2) 対象（学年等・人数） 全校生徒（540名）

(3) 指導者（教諭・外部講師等） 生徒会担当教諭
※総合的な学習の時間での「手話ダンスグループ」からの手話指導をきっかけとする。（例年は開成町の手話サークルが講師）



(4) 実施内容

- 生徒会基本方針「日本一優しい学校」をめざして、生徒会本部役員を中心に「身のまわりの課題や苦手なことへ挑戦していこう」と呼びかけながら、各専門委員会では様々な活動を計画し取り組んでいる。
- 生徒会組織の学年委員会では、学年行事への取組や集会の企画運営のほか「朝のあいさつ運動」など活動している。
- 1学年総合的な学習の時間では「福祉」について理解を深め、手話ダンスのライブの鑑賞をする。その後、自己紹介を手話で取り組むなどの学習をする。
- 学年委員会の活動として毎月行っている「あいさつ運動」において「世界の言葉や日本の方言であいさつ」など工夫を凝らしてきたが「手話を使ってのあいさつをしよう」と学年委員の生徒が率先して手話を練習し「朝のあいさつ運動」に手話を取り入れ実施した。



(5) 成果

○手話に関心をもち、手話で自分の名前だけでなく簡単なあいさつを伝えられるようになった。コミュニケーションツールとしての手話体験を通して、聴覚障がい者に対する理解を深めることができた。

〈生徒感想 一部抜粋〉

- ・今回の「手話によるあいさつ運動」は、お互い笑顔で気持ちよいあいさつが飛びかい雰囲気がよかった。
- ・手話は障がいを乗り越える1つの手段であり、言葉でもある。私たちも手話を覚えて、世界共通の手話が増えたら言葉の壁もなくいい社会になると思う。

(6) その他

○開成町の手話サークルによる「手話教室」に興味を持った生徒が参加している。